

## 研修Ⅰ 「郡市による実践交流」：三豊・観音寺支部

### 「子どもが主体的に学ぶ国語科学習の工夫

— 言葉による見方・考え方を働かせて、考えを深める授業を目指して —

第3学年 単元「お気に入りの生き物の身のかくし方をしようかいしよう」

～ 『自然のかくし絵』（東京書籍）の実践から～

#### 1 提案の概要

##### (1) 単元設定の意図

- ① 楽しく取り組む国語科学習の観点から
- ② 新学習指導要領（平成29年度告示）の授業改善の観点から
- ③ 本県の国語科学習における課題の克服に向けて

##### (2) 研究の重点

##### ① 「わくわく」「楽しい」を生む単元の設定 【第1次1時間目】

- ア 単元導入の工夫・・・ブックトーク
- イ 言語活動の工夫・・・教師のモデル提示と提案
- ウ 並行読書を誘う工夫・・・どこでも図書館（環境づくり）

##### ② 確かな力を育成するための取組

- ア 言葉による見方・考え方を主体的に働かせて考えを深める子どもづくり

##### 【単元全体を通して】

(ア) 汎用的な「見方・考え方」の系統表による読む力の育成

(イ) 見方・考え方カードの掲示

(ウ) 自己評価カードの活用

- イ 言葉による見方・考え方を協働的に働かせることによって深い学びを生む授業づくり

##### 【第2次5時間目・第3次9・10時間目】

(ア) 友だちとの話し合いで考えを深める場の設定

(イ) 大事な言葉に注目させる手立て

- ・ 思考ツール「マトリックス」の活用
- ・ 「術」を考える学習

(ウ) 付箋活用による吟味の場の設定

- ・ 書き抜いた文の見直し
- ・ 紹介文の交流

※ 語彙を増やす手立て

#### 2 成果

- 言葉による見方・考え方を働かせることで、目的に応じて大事な言葉を選ぶ等の読む力が付いた。
- 毎時間に繰り返すことで、次の学年や単元でも使える力になった。

#### 3 課題

- 目的に応じて中心となる言葉や文を選ぶことが難しい児童に対して、個に応じた支援をどのようにしていくか。
- 一人一人に読みの力を付けるため、言葉による見方・考え方を働かせる授業を大切にする。